

## 平成27年度第2回川崎市青少年科学館協議会摘録

日 時 平成27年10月14日（水） 午後2～4時

会 場 かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）自然学習棟2階 学習室3

出席者（敬称略）

- (1) 委員 （教育職員）上杉岳啓、井上明彦（社会教育）中山純史  
（公募市民）渡邊敬三、服部公俊  
（学識経験者）山上明、勝山輝男、洞口俊博、（家庭教育）有北郁子
- (2) 事務局 島田館長、大泉、川島、弘田、黒瀬
- (3) 傍聴者 0人

凡例 発言者について

□□：委員、○○：事務局員（青少年科学館職員）

### 1 開会

事務局より、開会告知、傍聴者受入（定員10人）、記録（録音及び筆記）作成及び会議記録公開について周知

### 2 館長挨拶

以下、山上会長が議事進行

□□ 議事を始める前に、中山副会長が、ご退職に伴い、協議会委員の務めを終えられることとなったことを報告する。

□□ 11月をもって退職することとなった。本協議会においては約5年間委員を務めてきた。皆様方にはお世話になった。

### 3 議事1 平成26年度事業評価について

会長の説明依頼に基づき、黒瀬から経過説明

□□ 協議会評価の点については案のとおりでよいか。また、コメントについては、事務局に、各委員名の削除及び重複しているコメントの整理をさせた上で、これを最終案としたいがどうか。

□□ 「収集保存事業-天文資料の収集と保存・整理」について、各委員評価のBの合計数がAの合計数を超過しているなかで、協議会評価案をAとされたのはなぜか。

□□ コメントを付して記載された評価をより重視したことによる。

□□ 今回の評価点について、昨年度実施した平成25年度事業評価と比較し、A・Bの割合はほぼ同じ結果となった。

□□ 協議会による各評価案について、平成25年度事業評価と傾向が異なる部分はあったか。

□□ 細かいところでの違いはあるが、全体としてはあまり変わらない。

□□ 前述のとおり、事務局にてコメント整理したものを、最終案としてメール送信させるので、委員の皆様方に今一度ご確認いただきたい。この確認作業をもって確定としたい。

会長 確定は12月までに行えばよいか。

黒瀬 なるべく早く確定させたいと考えている。皆様方への最終案の提示を急ぎたい。

#### 4 議事2 平成27年度事業経過報告について

会長の説明依頼に基づき、各担当から説明

洞口 箕輪氏に係る企画展について、収集資料の有効活用等の観点からよい企画と思う。一方で、開催期間が1ヶ月間のみとのことだが、どのように決定したのか。

弘田 展示スペースを利用できる期間から判断したが、展示期間終了後、ただちに次の展示を開始するわけではないので、利用者の反応等を見ながら最大1ヶ月程度延長することを検討したい。

洞口 せっかくの企画展示なので、もう少し長く実施してはどうか。

館長 このことに関連してだが、箕輪氏が教員として勤務したことのある西生田小学校は今年度140周年を迎えるが、校長から当館に対し、式典期間中における当該展示のパネル貸出を要請されているところである。今後も地域への貸出などパネルの有効活用を努めていきたい。

上杉 移動天文車アストロカーの出動数はどれくらいなのか。

弘田 原則月3回を上限とし、事前に応募いただいたものを抽選の上、年間20回くらい出動している。また、抽選とはしているが、なるべく出動要請に応えられるよう配慮している。

会長 資料を見た中で気付いたことをいくつか挙げたい。まず、資料中で「年間」「随時」などとされ、実施回数が記載されていないものがあるが、わかるものについては記載をお願いしたい。

弘田 そのように対応する。

会長 次にプラネタリウム観覧者数について、「展示事業」に記載された関連事業の合計観覧者数と、「管理運営」に記載されたプラネタリウム観覧者数が一致していないのはなぜか。

黒瀬 「管理運営」に記載されたプラネタリウム観覧者数については、通常的一般投影・学習投影の範疇に収まらない投影を含めていることによるものである。

(事務局注：「展示事業」記載の観覧者合計数に、プラネタリウムコンサートなど特別投影観覧者数を加えたものが「管理運営」のプラネタリウム観覧者数となります)

会長 観覧者数等の欄に、空欄になっているところと横線が入っているところがあるが、その違いは何か。

黒瀬 横線を入れている部分については、未実施・カウント不能であることを示している。

川島 空欄となっている「自然観察会」の参加者数は23名である。

会長 「自然観察会」については10月12日実施なので、9月30日までの実績を示した本資料においては、横線を加えておけばよい。

また、科学分野の展示事業について、実施回数が入っているが未実施ではないか。

大泉 ご指摘のとおりである。科学分野の全ての事業について年間の実施予定回数を記載した。

(事務局補足：この他、科学分野の全展示及び「天文関連展示事業」については、プラネタリウムドーム外壁面への展示となるため、具体的な観覧者数の把握は困難です)

会長 最後に、来年度以降は、ネットワーク事業についても、他の事業と同様に、実施回数及び観覧者数等の欄を加えた表によって報告してほしい。

黒瀬 そのようにしたい。

**渡邊** ネットワーク事業の一環として、科学館だよりなどを学校の理科教員宛にメール発信するなどのネットワークは構築しているか。

**大泉** このことについては以前もご意見を頂戴したところだが、市教員のネット環境は内部に限られたものなので、外部から直接データ送信することが難しい。教員向けのネットを統括する部門に対し科学館だより等のデータを送信し、そのデータを内部の掲示板に上げてもらう方法が考えられる。掲示までにタイムラグが発生することとなるが、現在は、学校の PC ルームで児童・生徒が閲覧できるよう、この方式を前提に、相手側の担当者と協議しているところである。

**渡邊** 館の新鮮な情報を教員に提供できるようなネットワークができるとよいのだが。

**大泉** メーリングリスト形式により、直接各教員宛にデータ送信する手法も検討したが、受け取り側の方で迷惑メール扱いとなる可能性が高いなど課題が多い。現時点では、掲示板方式が最適ではないかと考えている。

**副会長** 利用者の満足度を把握し取組に活かすことが重要と思うが、これらの把握に向けた手法を確保あるいは検討しているか。東芝未来科学館ではタブレットを活用した電子アンケートシステムを導入し、各展示の満足度などを調査の上、実際の展示に反映させている。

**黒瀬** 現在来館者アンケートを実施しているが、個別の取組に係る設問はない。一方、自由記入欄に記載されたコメントについては、内容確認の上、可能なものについては館の取組に反映させるよう心掛けている。

**大泉** 今後に向けた取組としては、ホームページ上におけるアンケート実施について、課題の検討や手法の確認など準備を進めてはいる。

## 5 その他

### (1) 次回協議会について

**黒瀬** 第3回協議会は事業視察として11月及び12月に実施予定で、近日中に皆様方に日程及び視察対象事業を提示する予定である。提示するもの以外でも、関心がおありの事業があったら、個別に事務局まで連絡いただきたい。第4回協議会については、来年2月～3月に実施予定である。

また、平成26年度事業評価について、今後はネットを通じたの作業となるが、引き続きご協力をお願いしたい。

### (2) その他

なし

## 6 閉会

会長より閉会告知